

法人番号※

平成19事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間  
(平成16～19事業年度)に係る業務の実績に関する  
報告書(資料編)(様式例)(案)

平成 20 年 6 月

大学共同利用機関法人  
〇〇研究機構

## 「資料編」作成要領

### ○ 作成にあたっての基本的な考え方

(1) 資料編は、国立大学法人評価委員会が総合的な評価を行うに当たって、必要最少限の情報を収集するためのもので、これをもって一律に評価するものではありません。

(2) 提出していただく資料は、大きく分けて以下の2点になります。

① 各法人共通の資料・データ（資料1～1112）

② 大学共同利用機関法人の特性を踏まえた評価の留意事項に関する資料（資料1213）

（※『各年度終了時の評価における大学共同利用機関法人の特性を踏まえた評価の留意事項（審議まとめ）』を参照。）

なお、提出資料が昨年提出したものと全く同一の場合は、資料の添付を省略し、その旨記載してください。

(3) 別紙「各法人共通の資料・データ一覧」、「大学共同利用機関法人の特性を踏まえた評価の留意事項に関する資料」については、該当する欄に○印を記入してください。

なお、該当がない項目（例：「評価委員会の評価結果（課題として指摘された事項）について検討し反映したか」について、指摘事項がなかった場合）については、「いない」欄及び添付資料欄に「－」を記載してください。

(4) 「確認事項」で「いる」又は「ある・いる」に該当する場合は、それらに関する資料は必ず添付してください。

(5) 確認事項は、原則、平成19年度実績での状況をお答えください。なお、「（～平成19年度）」とあるものは、平成19年度以前の取組に係る資料があれば併せて提出してください。なお、その場合には取組を行った年度がわかるようにしてください。

(2) ②の資料については、同「留意事項」の指標例に沿っています。各機関等の特性に応じ、適宜資料の追加・精選等を行って下さい。

(6) 資料編についても、原則として公開扱い（個人情報等、公開になじまないものを除く。）となります。

### ○ 提出方法等

(1) 書面5-0-40部及び電子媒体（PDF文書等）を提出してください。

(2) 添付資料については、既存の資料のコピーでも構いませんが、その場合、冊子等自体ではなく、関係箇所を抜粋するなど、資料の精選に努めてください。

また、確認内容がわかるように該当箇所にアンダーラインを付してください。

(3) 添付資料（書面提出分）については、「各法人共通の取組に関する資料・データ一覧」「大学共同利用機関法人の特性を踏まえた評価の留意事項に関する資料」の添付資料番号に基づいて観点等ごとに、インデックスを付けてください。（例：資料1関係、資料2関係）

## 「各法人共通の資料・データ一覧」

### (1) 業務運営の改善及び効率化

○法人としての総合的な観点から戦略的・効果的な資源配分が行われているか。(資料1関係)				
	確認事項	いる	いない	
学長等機構長の裁量の予算、定員・人件費を設定しているか。				
(添付資料)		有	無	
1-1. 学長等機構長裁量予算、定員・人件費の配分方針				
1-2. 学長等機構長裁量分の額、人数、配分方法(決定体制を含む)、配分対象				
○法人内における資源配分に対する中間評価・事後評価を行い、必要に応じて資源配分の修正が行われているか。(資料2関係)				
		いる	いない	
確認事項				
法人内における資源配分が適切かつ効果的に行われたかどうかを検証する仕組みが整備されているか。				
資源配分に関して中間・事後評価が実施されたか。				
評価結果を踏まえた配分見直しの検討を行っているか。				
(添付資料)		有	無	
2-1. 中間・事後評価実施規程等、体制の整備が確認できる資料				
2-2. 評価の実施状況や評価実績等が確認できる資料				
2-3. 資源配分方針、配分実績が確認できる資料、見直しを行っていれば見直し状況が確認できる資料				
○業務運営の効率化を図っているか。(資料3関係)				
		いる	いない	
確認事項				
統合による事務の効率化・業務運営の合理化が図られたか。(～平成19年度)				
(添付資料)		有	無	
3-1. 共通事務の一元化等による業務運営の効率化が図られた例				
○外部有識者の積極的活用を行っているか。(資料3-4関係)				
		ある・いる	ない・いない	
確認事項				
学機構外委員からの法人運営に関する意見があったか。				
"	について法人内で検討しているか。			
"	で具体的に改善した事柄はあるか。			
経営協議会において、法令(国立大学法人法第27条第4項)で規定されている以下の審議事項が審議されているか。		当該年度における変更等の有無	事前審議	事後審議・報告
中期目標・中期計画の変更				審議なし
①中期目標についての意見に関する事項のうち、大学共同利用機関法人の経営に関するもの				
年度計画の策定・変更				
②中期計画に関する事項のうち、大学共同利用機関法人の経営に関するもの				
③年度計画に関する事項のうち、大学共同利用機関法人の経営に関するもの				

役員報酬規程・退職手当規程の変更				
④経営に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項(会計規程、役員報酬規程、職員の給与及び退職手当の支給基準など)				
⑤平成20年度予算				
⑥平成18年度決算				
⑦組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項 (自己点検・評価のうち、組織及び運営の状況に関する事項など)				
(添付資料)			有	無
<del>3-4-1.</del> 経営協議会の議事録又は議事要旨 (平成19年度における経営協議会の開催回数 回)				
4-2. 上記①～⑦の各項目が、いつ開催の経営協議会で、どの審議事項として審議されたかが確認できる整理表				
<del>3-4-2-3.</del> 経営協議会の学機構外委員からの意見を法人運営の改善に活用した、主な取組事例				
<del>3-4-3-4.</del> 経営協議会で学機構外委員からの意見を積極的に取り上げるための体制・取組例				
○監査機能の充実が図られているか。(資料4-5関係)				
確認事項	指摘事項の有無	ある・いる	ない・いない	
<del>監事監査計画に基づく監事監査(業務監査・会計監査)が実施されているか。</del>				
<del>監査の結果、監事からの指摘事項があったか。</del>				
監事からの指摘事項で具体的に改善した事柄、または、改善に向けた取組はあるか。				
内部監査の指摘事項で具体的に改善した事柄、または、改善に向けた取組はあるか。				
事務局から独立した監査対象組織からの独立性が担保された監事の補佐の体制が整備されているか。				
<del>内部監査計画に基づく内部監査が実施されているか。</del>				
<del>内部監査の結果、指摘事項があったか。</del>				
事務局から独立した内部監査組織の設置など、監査対象組織からの独立性が担保された内部監査の実施体制が整備されているか。				
(添付資料)			有	無
4-5-1. 実際に実施した監事監査の実施スケジュール計画書及び監事監査報告書				
4-5-2. 監事の指摘事項を法人運営の改善に活用した主な取組事例、または、改善に向けた主な取組事例				
4-5-3. 実際に実施した内部監査の実施スケジュール計画書及び内部監査報告書				
5-4. 内部監査の実施体制図(事業報告書に記載する事務組織図で確認可能な場合は省略可)				
4-5-4-5. 内部監査の指摘事項を法人運営の改善に活用した主な取組事例、または、改善に向けた主な取組事例				

○教育研究組織の柔軟かつ機動的な編制・見直し等が行われているか。（資料5-6関係）

確認事項	ある	ない
教育研究組織の見直しの機会が設けられているか。（～平成19年度）		
教育研究組織の見直しの検討が行われているか。（～平成19年度）		
（添付資料）	有	無
6-1. 教育研究組織の見直しの仕組みがわかる資料		
5-6-1-2. 教育研究組織の活性化に向けた検討状況がわかる資料		

○法人全体としての学術研究活動推進のための戦略的取組が行われているか。（資料6-7関係）

確認事項	ある	ない
法人全体としての組織的な研究活動推進のための取組があるか。（～平成19年度）		
（添付資料）	有	無
6-7-1. 法人全体としての組織的な研究活動推進のための取組状況が確認できる資料		

○従前の業務実績の評価結果について運営に活用しているか。（資料112-1関係）

確認事項	ある・いる	ない・いない
評価委員会の評価結果（課題として指摘された事項）を <del>を</del> について検討 <del>し</del> 反映したか。		
（添付資料）	有	無
112-1-1. 平成17・18年度評価結果で課題として指摘された事項及びそれに対する平成19年度の対処の有無の一覧表		
112-1-2. 年度評価結果 <del>め</del> について検討 <del>し</del> 反映 <del>め</del> した具体的内容及び裏付け資料		

(2) 財務内容の改善

○財務内容の改善・充実が図られているか。(資料7-8関係)

確認事項	いる	いない
部局等の自己収入増加についてインセンティブを付与しているか。		
財務情報の分析を行い、その分析結果を法人運営の改善に活用しているか。		
随意契約に係る情報公開等を通じて契約の適正化を図っているか。		
(添付資料)	有	無
7-8-1. 部局の外部資金受入額の予算配分への反映によるインセンティブ付与の内容がわかる資料		
8-2. 財務情報の分析、活用の内容がわかる資料		
7-8-2-3. 随意契約に係る情報公開の取組		
7-8-3-4. その他、随意契約の適正化に向けた取組		

○人件費等の必要額を見通した財政計画の策定や適切な人員管理計画の策定等を通じて、人件費削減に向けた取組が行われているか。(資料8-9関係)

確認事項	いる	いない
平成19年度における人件費削減にかかる取組が、年度計画を達成しているかどうか。		
(添付資料)	有	無
8-9-1. 人件費削減計画及び削減実績		

○従前の業務実績の評価結果について運営に活用しているか。(資料11-12-2関係)

確認事項	ある・いる	ない・いない
評価委員会の評価結果(課題として指摘された事項)を <del>そ</del> について検討 <del>→</del> し反映したか。		
(添付資料)	有	無
11-12-2-1. 平成17・18年度評価結果で課題として指摘された事項及びそれに対する平成19年度の対処の有無の一覧表		
11-12-2-2. 年度評価結果 <del>の</del> について検討 <del>→</del> し反映 <del>の</del> した具体的内容及び裏付け資料		

(3) 自己点検・評価及び情報提供

○従前の業務実績の評価結果について運営に活用しているか。(資料11-12-3関係)

確認事項	ある・いる	ない・いない
評価委員会の評価結果(課題として指摘された事項)を <del>そ</del> について検討 <del>→</del> し反映したか。		
(添付資料)	有	無
11-12-3-1. 平成17・18年度評価結果で課題として指摘された事項及びそれに対する平成19年度の対処の有無の一覧表		
11-12-3-2. 年度評価結果 <del>の</del> について検討 <del>→</del> し反映 <del>の</del> した具体的内容及び裏付け資料		

(4) その他の業務運営に関する重要事項

○施設マネジメント等が適切に行われているか。(資料9-10関係)

確認事項	いる	いない
施設マネジメントの <b>実施体制が整備され</b> 活動が行われているか。		
長期的な視点に立ったキャンパス計画等を策定し一貫性をもって施設の整備が行われているか。(～平成19年度)		
施設・設備の有効活用が行われているか。		
施設の維持管理が計画的に行われているか。		
省エネルギー対策等の <b>推進</b> や <b>温室効果ガス排出削減などの環境保全対策に関する地球温暖化対策に関する計画的な取組</b> が行われているか。(～平成19年度)		
(添付資料)	有	無
9-10-1. 施設マネジメントの <b>体制・活動取組</b> 状況		
9-10-2. <b>中長期的な視点に立ったキャンパス計画等の策定</b> 状況		
9-10-3. 既存施設・設備の有効活用への <b>取組</b> 状況		
9-4. <b>共同利用スペースの確保</b> 状況		
9-10-5-4. 施設の維持管理の <b>計画及び実施取組</b> 状況		
9-10-6-5. <b>環境保全対策の取組状況</b> 省エネルギー対策等や <b>地球温暖化対策に関する取組</b> 状況(中長期的な目標やその達成状況、取組状況等)		

○危機管理への対応策が適切にとられているか。(資料10-11関係)

確認事項	法人全体有	機関有	無
災害、事件・事故、薬品管理等に対する <b>予防的措置</b> が講じられているか。			
研究費の不正使用防止のための <b>体制、ルール</b> を整備しているか。			
(添付資料)	有	無	
10-11-1. 安全衛生講習の実施、予防訓練、啓発活動等、事件・事故防止に向けた <b>取組</b>			
10-11-2. 研究費の不正使用防止のための <b>体制、ルール</b> の整備状況			

○従前の業務実績の評価結果について運営に活用しているか。(資料11-12-4関係)

確認事項	ある・いる	ない・いない
評価委員会の評価結果(課題として指摘された事項)を <b>について検討し</b> 反映したか。		
(添付資料)	有	無
11-12-4-1. 平成17・18年度評価結果で課題として指摘された事項及びそれに対する平成19年度の <b>対処の有無の一覧表</b>		
11-12-4-2. <b>年度評価結果について検討し</b> 反映した <b>具体的内容及び裏付け資料</b>		



# 大学共同利用機関法人の特性を踏まえた評価の留意事項に関する資料

※ 各年度終了時の評価における大学共同利用機関法人の特性を踏まえた評価の留意事項（審議まとめ）参照して資料を作成して下さい。

## ○共通のポイント

【ポイント①】 独創的・先端的な学術研究を推進する共同利用（資料4213-1関係）			
確認事項	いる	いない	
我が国の学術研究の中核的拠点として、各機関において共同利用の充実が図られているか。			
(添付資料)	有	無	
4213-1-1. 共同利用の実施状況（共同利用者数（定義及び算定方法を記載すること）・機関数等含む）及びそれに対する自己評価（別添参照）			
4213-1-2. 共同利用者への施設・設備、学術資料、データベース等の提供の状況			
4213-1-3. 共同利用システムに対する研究者コミュニティ等の意見の反映の状況			
4213-1-4. 国内外の研究動向の把握の状況			
4213-1-5. 大学等が行う研究への支援として、法人が行う特色ある取組			
4213-1-6. 共同利用の推進に関する法人の取組			
【ポイント②】 国際的な貢献・連携等、国際的に中核となる研究拠点としての役割（資料4213-2関係）			
確認事項	いる	いない	
国内外の大学や政府等との連携活動を実施しているか、国際貢献を果たしているか。また、連携等を促進しているか。			
(添付資料)	有	無	
4213-2-1. 国際的な研究機関として実施する特色ある研究活動、事業展開			
4213-2-2. 事業の円滑な支援体制の整備状況			
4213-2-3. 国際的・戦略的な特色ある取組			
4213-2-4. 国際的連携・事業による成果の公表、国際的評価の状況			
【ポイント③】 人材集結型、ネットワーク型の共同研究（資料4213-3関係）			
確認事項	いる	いない	
共同利用により、研究者コミュニティと一体となって、我が国全体の研究ポテンシャルを高めるような人材集結型・ネットワーク型の共同研究の推進が図られているか。			
(添付資料)	有	無	
4213-3-1. 当該分野の国際的研究動向を的確に把握するシステムの構築状況			
4213-3-2. 適切な研究テーマの設定等に関する状況			
4213-3-3. 人的・物的研究資源の活用のための適切な研究体制の構築状況			
4213-3-4. 大学等との人事交流による共同研究の活性化の状況			
4213-3-5. 研究者コミュニティの意向を反映した研究課題の選定状況			
【ポイント④】 最先端の研究施設・設備や国際的プロジェクトを活用した人材養成（資料4213-4関係）			
確認事項	いる	いない	
研究施設・設備等の研究資源を活かした人材養成に関して、特色ある取組を行っているか。			
(添付資料)	有	無	
4213-4-1. 大学院教育への協力の状況（大学院生の受入状況等含む）			
4213-4-2. 人材養成に関し、特色ある取組（若手研究者等の受入状況等含む）			



【ポイント⑤】研究者や大学等に対する情報提供（資料1213-5関係）

確認事項	いる	いない
各機関の施設・設備等の利用状況、利用方法及び共同利用による成果等について、研究者や大学等に対し、利用者の立場に立った情報提供を積極的に行っているか。		
社会への積極的な情報提供により、法人についての理解を促進する取組を行っているか。		
(添付資料)	有	無
1213-5-1. 施設・設備等の利用状況・利用方法に関する情報発信の状況		
1213-5-2. 共同利用による研究成果に関する情報発信の状況		
1213-5-3. 大学等の関連研究組織との連携・協力の推進体制や交流状況に関する情報発信の状況		
1213-5-4. 社会への情報発信の状況		

○共同利用の機能・形態によって異なるポイント

【ポイント①】大型施設・設備提供型の共同利用（資料1213-6関係）

確認事項	いる	いない
大型装置等の開発計画の立案及びそれに基づく開発が着実に推進され、共同利用のために、最先端の研究環境の十分な提供が行われているか。		
(添付資料)	有	無
1213-6-1. 大型施設・設備の整備、維持、改良、改造への取組状況		
1213-6-2. 高性能化のための開発研究、最先端の研究環境の整備等への取組状況		
1213-6-3. 高度な装置利用のための技術者等の支援体制の整備状況		
1213-6-4. 大型施設・設備等の利用状況（稼働時間及び共同利用に供する時間含む）		

【ポイント②】学術資料・情報の組織的調査・研究、収集、整理、提供を行う共同利用（資料1213-7関係）

確認事項	いる	いない
大学等の研究者に対して、学術資料等の提供を十分に行っているか。		
研究者以外を対象とした一般公開・展示に関する取組を行っているか。		
(添付資料)	有	無
1213-7-1. 標本や図書の収集・保存など、研究テーマに基づいて各研究者が行う情報収集活動に対する支援の状況		
1213-7-2. 学術資料の利用方法や利用の状況（収集状況含む）		
1213-7-3. 研究者以外を対象とした一般公開・展示の状況（入場者数含む）		

【ポイント③】学術情報基盤形成、データベース等の共同利用を行っているか。（資料1213-8関係）

確認事項	いる	いない
学術情報基盤を提供する共同利用について、我が国の研究ポテンシャルを高めるような共同利用の充実が図られているか。		
(添付資料)	有	無
1213-8-1. 学術情報基盤となる情報網の整備・運用及び利用状況（大学等機関別の状況など）		
1213-8-2. データベース等の開発・公開・利用の状況		

(別添) 添付資料 13-1-1. の例

機関名	人数	延べ人数 (人・日)	機関数
機構合計			

※合計欄の機関数については、実数（重複を取り除いた数値）で記入

【機関名】

○ 共同利用・共同研究の形態別共同利用者数

分類	内容	人数	延べ人数 (人・日)	機関数
(例) 一般共同研究				
施設利用型共同研究				
研究会				
国際研究集会				
合計				

注1： 延べ人数の考え方

例1) 1つの共同研究プロジェクトで2人が3日来所した場合

→ 人数 2人、延べ人数 6人・日

例2) 同一人物が2つのプロジェクトに参加し、プロジェクトAのために3日、Bのために4日来所した場合 → 人数 2人、延べ人数 7人・日

注2： 合計欄の機関数は、実数（重複を取り除いた数値）で記入

○ 参加者の定義、カウント方法

(例) ・公募の際に、共同研究者としてメンバーリストに記載のある人のみカウント。  
・セミナーの参加者については、旅費を支給している人のみカウント。

○ 上記の状況に関する法人としての自己評価